

令和2年度  
学校関係者評価報告書

令和2年10月21日(水)

学校法人 宮崎総合学院  
宮崎情報ビジネス医療専門学校

## 令和2年度第1回「学校関係者評価委員会」報告について

宮崎情報ビジネス医療専門学校では、平成23年度より、教育内容や日々の学校運営に関する業務について点検し、更なる改善、向上を図るため、自己点検・評価に取り組み、平成24年6月（第1回）、平成25年7月（第2回）に、学校法人宮崎総合学院のホームページ上で公表いたしました。

更に、本年度は文部科学省の「職業実践専門課程」に係る公示に併せて、学校単体での「学校関係者評価委員会」を開催し、本校に関係の深い病院関連や企業関連の方々に、本校の教育活動や学校運営に関してご意見、提言等をいただき、今後の学校運営や評価の在り方について、より良い改善を図っていくことといたしました。

今回、令和2年度第1回「学校関係者評価委員会」を開催し、令和元年度に続き貴重なご意見、ご指摘を頂きました。ご意見・ご提言をいただいた皆様にもあらためて感謝申し上げます。

今回、令和2年度の評価結果を真摯に受け止め、今後とも、業界、地域、学生のニーズに応えられる学校運営を目指し、教職員一同努力して参る所存であります。

引き続き一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和2年10月  
宮崎情報ビジネス医療専門学校  
校長 磯上 照男

1. 「学校関係者評価」の実施方法について

今回の「学校関係者評価」は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施した、「令和元年度自己点検・評価報告書」について、本校に関係の深い企業等 11 名の評価委員（委員一覧表）に評価していただいた。

評価委員からの意見は、本校で組織する自己点検・評価委員会委員長（校長）及び教職員が承り、その評価結果の内容等について要約の上、報告書として取りまとめた。

自己点検・評価報告書（令和元年度版）と併せてご覧頂きたい。

2. 学校関係者評価委員一覧表

評価委員 敬称略	会社（企業）名	役職名	任 期	備 考
川崎 友裕	一般社団法人 宮崎県情報産業協会	会長	R3. 3. 31	(株)MJC 社長 (欠席)
鈴木 斎王	宮崎診療情報管理懇話会	会長	R3. 3. 31	宮崎大学医学部附属病院 副病院長
丸山 博史	社会医療法人同心会	理事 事務局次長	R3. 3. 31	古賀総合病院
丸山 こずえ	独立行政法人国立病院機構 都城医療センター	副部長	R3. 3. 31	
南 克弘	株式会社インタープロ	社長	R3. 3. 31	(欠席)
井上 雅博	株式会社 フェニックスシステム研究所	イー・アント・エム グループ PMO 担当	R3. 3. 31	
阿波部 康志	株式会社 ニューウェルシティ宮崎	総支配人	R3. 3. 31	
田辺 邦晃	株式会社坂下組	総務課長	R3. 3. 31	宮崎本社
下笠 敏徳	宮崎県幼稚園連合会	副会長	R3. 3. 31	学校法人三育学園 光が丘幼稚園 理事長
小森 春美	学校法人福原学園 野の花幼稚園	主任	R3. 3. 31	
河野 大樹	株式会社メガ・テクノロジー	主任	R3. 3. 31	卒業生 (欠席)

### 3. 委員会次第（概 要）

(1) 開会

(2) 校長挨拶

省略

(3) 委員長選任

短縮開催のため省略

(4) 令和元年度 委員会議事録確認報告

省略

(5) 令和元年度 学校自己点検評価報告

教務部長より、各項目についての報告を行った。

(6) 討議・意見交換

各評価委員から、報告に対するご意見やご指導をいただいた。

（詳細は後記のとおり）

(7) 閉会

### 4. 討議・意見交換について

各評価委員から、前回ご指摘いただいた項目についてご意見やご指導をいただいた。

#### ◇ 評価項目 3-5 （就職支援を行うための指定された場所）

・場所があるかということではないと思うが、単純に場所があるかということであるなら削除してもよいのではないか。きちんと支援をしているのであれば問題はないのではないか（井上委員）

・大学等で場所があっても機能していないところもあるので、場所に関する項目は削除してもよいのではないか（田辺委員）

・学生に対し窓口がきちんと明示されているのであれば、問題ないと思う。学生便覧P9にサポート体制についての図があるが、就職担当へ企業からの情報収集の矢印が向いている。この図だと誰が就職の窓口であるのか分かりにくいので、メインの担当はクラス担任であるということが分かるような図に工夫したほうが良い（鈴木委員）

⇒便覧については修正をかけて、次年度項目がきちんと評価できるようにする（樋口部長）

#### ◇ 評価項目 3-13 （学校施設・備品の点検）

・病院などでは、きちんと範囲を決めてしまえば簡単に評価があがる項目なのだが、そこが上がってこないのはなぜか。（丸山委員）

⇒備品などについては、なくなったらその分補充をするという流れなので、すべての品目で管理は出来ていない状況である。どこまでを範囲とするのか、決めるのも難しい問題があるので、現状では「3」評価となっている。（樋口部長）

- ・医学部のほうでは、ノートPC以上のもので管理をしている。“いくら以上のものは備品”とし、備品管理シールを貼り管理している。備品の定義をすればよいのではないか（丸山委員）  
⇒備品の定義を作って対応していきたい（樋口部長）

◇ 評価項目 5-7（入学予定者に対する学習指導・支援）

- ・テキスト等を配布し、取り組ませるだけでも支援をしていることに変わりはないので、「4」の評価でも良いのではないかと（井上委員）
- ・支援をするとすると、どのぐらいの学習能力があるのかテストなどで評価をする必要がある。入学後でも良いが、学習の程度については把握する必要はあるのではないかと（鈴木委員）  
⇒各コースで、入学後の確認テストや各科ごとの入学前課題などを実施し把握ができるように、各科と相談をしながら検討していきたい。（樋口部長）

◇ 評価項目 6-1（社会的活動）

- ・カリキュラムに入れることが難しいのであれば年に1回は必ずボランティアに参加をするということでも良いのではないかと（阿波部委員）

◇ 評価項目 7-5（防災訓練）

- ・非常階段を使用した避難経路などを含めて、実際に歩かせることが大切である。（丸山委員）
- ・前回の評価から改善されており、非常に良い。当園では、図上訓練も実施している。火事、地震などではどうするかという職員間の共通理解をもって取り組めるので良い（下笠委員）
- ・机上訓練で、地図上で問題となりそうな場所を探し実際にその場所に行かせて報告をさせるという訓練も良いかもしれない（鈴木先生）

◇ 評価項目 3-3（図書室・図書コーナー）

- ・学科ごとに図書コーナーを設置したとのことで評価が上がっている。しかし、3-4「関連図書」についての項目が「2」のままになっているが、種類が増えていないということか（小森委員）  
⇒図書コーナーの設置はできたが、種類のところまでまだ手が回っていないという状況である。専門書についてのご意見は前回もありましたので、学生の要望を聞きながら、検討していきたい。（樋口部長）

- ・契約料がいくらなのかが分からないが、ネットなどでも論文や本を見ることができるので図書室にこだわらず、そのような方法でも良いのではないか（鈴木委員）

◇各委員からのご意見

- ・2-11（結果に基づく研修）  
授業力向上のために研究授業や参観授業などを行っているが、この項目がまだ「3」であることは厳しいのではないか。何か「4」ではない理由があるか。（田辺委員）  
⇒評価の良かった職員については、あまり研修ができておらず、評価の良くなかった職員についてのみ時間をかけているという状況である。そのため全体でみると、厳しい評価となってしまう。（樋口部長）  
⇒前期に1回、後期に1回は研究・参観授業を実施している。学生のため指導力向上に努めるために、これでよいということはないので、3という評価にさせてもらっている。（磯上校長）
- ・2-21（高等教育機関との連携講座）  
高等教育機関との連携講座は、ある程度何を求めているかというところがないと連携が難しいと思うが、何を目的としているのか。（鈴木委員）  
⇒宮情として連携をお願いするようなことではなく、相手から依頼があれば実施するというようなところで積極的なものではないため「2」の評価となっている。また、小学校などプログラミング等の需要があるというのは把握しているが、人的な問題もあり、積極的に動けていないという現状である。（樋口部長）
- ・自己点検だけではなく、グループ内での評価をしているという項目も入れたほうが良いのではないか。また今後グループ内での講師派遣等も実施できれば、それも評価の対象になるのではないか。（鈴木委員）  
⇒今回、鹿児島県のグループ校と ZOOM を使用し、情報処理国家試験の解答・解説を相互に実施する取り組みを行った。オンラインでの実施はまだ課題が残るが、人的な問題が解消されることでうまくいった事例がある。（樋口部長）

以上の意見を頂き閉会した。

—以 上—